

定期報告制度の告示に伴う 赤外線装置法による外壁診断セミナー (基礎コース)



イメージ図

赤外線サーモグラフィ装置による外壁診断の基礎から定期報告制度に関する解説、事例紹介、留意事項、報告書の作成までわかりやすく解説いたします。また、全課目を受講された方には、受講証明書をお渡し致します。また基礎コース受講後、実技応用コースを受講された方には修了証をお渡しいたします。注1

参加費 (税込み) : 13,000円/人 11,700円/人 (会員、資格者) 注2

定員 : 16名

※開催日時・開催場所につきましては当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.thermography.or.jp/seminar/seminar03.html>

注1: 修了証取得に際しては、実技応用コース終了後に理解度判定チェックを行います。

注2: 後援、協賛の各法人/団体の会員と(一社)日本非破壊検査協会のNDIS0604赤外線サーモグラフィ試験(TT)またはJIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ試験(TT)の有資格者は会員価格が適用されます。

後援: (一社)日本非破壊検査工業会

協賛: (一社)赤外線構造物診断研究会、(一社)改修設計センター
日本工業出版(株)、(株)日刊建設通信新聞社、産報出版(株)
(株)テツアドー出版、日本アビオニクス(株)

■コースの目的

特殊建築物等の定期調査報告(建築基準法第12条第1項)における外壁調査では、打診との併用を前提として赤外線装置法による調査が可能となりましたが、赤外線装置法の普及が遅れている現状では、その正しい適用が懸念されています。今回、定期報告制度の趣旨、調査方法等の解説から報告書の作成まで、全体にわたる内容についてセミナーを開催致しますので、この機会に是非、ご受講頂き業務に役立て頂きたくご案内申し上げます。全課目を受講された方には、受講証明書をお渡しします。また、基礎コース受講後、実技応用コースを受講された方には修了証をお渡しいたします。過去に当協会の初級コースを受講された方は、基礎コースを受講したと同等と見なし、実技応用コースのみ受講しても修了証を発行いたします。

※修了証取得に際しては、実技応用コース終了後に理解度判定チェックを行います。

■講習課目と時間割

課目	講習内容	時間
赤外線測定の基礎	・熱の伝わり方(伝熱:放射、伝導、対流) ・赤外線による温度測定の原理 ・測定の注意事項	10:00～12:00 (2時間)
定期報告制度について	・定期報告制度の趣旨 ・特殊建築物等定期調査の見直し ・告示内容とその解説(調査項目、調査内容、判定基準) ・赤外線調査報告書の作成方法 ・報告書に記載すべき事項	13:00～14:00 (1時間)
外壁仕上げ材 (タイル、石張り及びモルタル)	・外壁仕上げ材の種類 ・施工方法(乾式工法と報告対象工法等) ・劣化現象(劣化写真見本等)	14:10～15:00 (50分)
赤外線による外壁診断の留意点	・調査時期、時刻(日射量との関係) ・天候(雨天、曇天)、風による影響 ・測定壁面とカメラの距離 ・測定角度(水平、垂直)の影響 ・仕上げ材の材質、形状による影響 ・報告書事例 ・その他	15:10～17:00 (1時間50分)

■講師(予定)

- ・佐藤 紀男 (佐藤建築事務所 所長 一級建築士 当協会理事)
- ・作中 隆之 (株式会社 東設土木コンサルタント)
- ・当協会講師

※都合により講師が変更になる場合があります。

■受講料

	一般	会員(注1参照)
受講料(テキスト代、消費税等込み)	13,000円/一人	11,700円/一人

受講料(テキスト代、消費税込み。テキストは開催当日お渡しします)

注1:後援、協賛の各法人/団体の会員と(一社)日本非破壊検査協会のNDIS0604赤外線サーモグラフィ試験(TT)またはJIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ試験(TT)の有資格者は会員価格が適用されます。

※開催日の2週間前を過ぎると受講をキャンセルできませんのでご注意ください。

■開催日時・開催場所について

当協会ホームページにて開催日時、開催場所を掲載しております。

詳細につきましては当協会ホームページよりご確認ください。

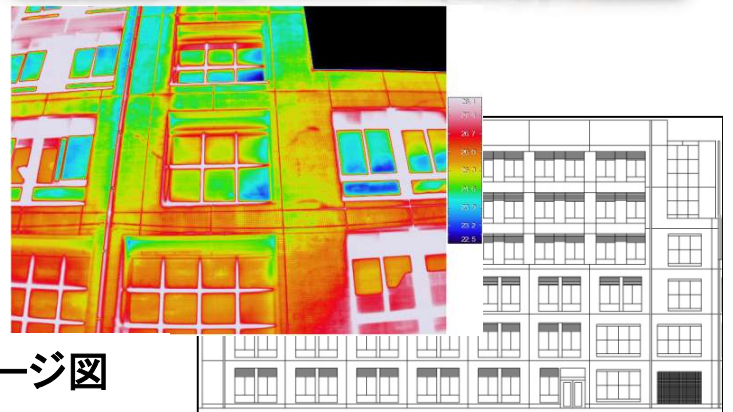
<http://www.thermography.or.jp/seminar/seminar03.html>

■申込み方法(次の方法の何れかからお申込み下さい)

当協会ホームページの申込みフォーマットから直接送信する。

電話での受付及び予約は一切行っておりません。尚、ご不明点は、電話やホームページ(お問合せ)等でお問合せ下さい。

定期報告制度の告示に伴う 赤外線装置法による外壁診断セミナー (実技応用コース)



イメージ図

赤外線サーモグラフィ装置による外壁診断の計測実習、画像処理、報告書作成まで実際のフィールドでわかりやすく説明いたします。ただし、実際の建物の撮影実習はありませんので、注意願います。実技応用コース全課目を受講された方には、受講証明書をお渡し致します。また基礎コース受講後に実技応用コースを受講された方には修了証をお渡しいたします。注1

参加費(税込み) : 24,000円/人 21,600円/人(会員・資格者)注2

定員 : 16名

時間 : 10時00分~18時00分

※開催日時・開催場所につきましては当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.thermography.or.jp/seminar/seminar03.html>

注1: 修了証取得に際しては、実技応用コース終了後に理解度判定チェックを行います。

注2: 後援、協賛の各法人/団体の会員と(一社)日本非破壊検査協会のNDIS0604赤外線サーモグラフィ試験(TT)またはJIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ試験(TT)の有資格者は会員価格が適用されます。

後援 : (一社)日本非破壊検査工業会

協賛 : (一社)赤外線構造物診断研究会、(一社)改修設計センター

日本工業出版(株)、(株)日刊建設通信新聞社、産報出版(株)

(株)テツアダー出版、日本アビオニクス(株)

■コースの目的

特殊建築物等の定期調査報告(建築基準法第12条第1項)における外壁調査では、打診との併用を前提として赤外線装置法による調査が可能となりました。赤外線装置法による正しい知識を身につけ、正確な診断にお役立て戴くため実技応用コースを開催致します。外壁調査の実務、計測方法等の解説および実習、報告書の作成までわかりやすく実技と座学で解説を致します。全課目を受講された方には、受講証明書をお渡しします。また、基礎コース受講後、実技応用コースを受講された方には修了証をお渡しいたします。過去に当協会の初級コースを受講された方は、基礎コースを受講したと同等と見なし、実技応用コースのみ受講しても修了証を発行いたします。

※修了証取得に際しては、実技応用コース終了後に理解度判定チェックを行います。

■講習概要(10時～18時)

課目	講習内容
・赤外線測定方法の復習(講義)	・サーマルフォーカス ・基本操作
・赤外線による外壁調査方法(講義) ・赤外線調査計画書作成(講義) ・報告書作成方法について(講義)	・気象条件(雨天・曇天・風の影響) ・日射の影響 ・データ記録(焦点・角度・距離) ・壁面の状況 ・調査計画書の作成方法 ・報告書の作成方法など
事前調査(想定建物による机上実技)	・現地予備調査実施 ・調査情報の整理 ・調査計画書作成など
計測実習(過去の計測データの仮想実技)	・距離・角度・日射状況・外乱の影響・測定時刻・機器操作 ・気象条件・その他
画像解析・報告書作成(実技)	・解析ソフトの使用法 画像処理方法 報告書作成 ・作成上の留意事項

※都合により内容が一部変更になる場合があります。

■講師(予定)

- ・佐藤 紀男 (佐藤建築事務所 所長 一級建築士 当協会理事)
- ・作中 隆之 (株式会社 東設土木コンサルタント)
- ・当協会講師

※都合により講師が変更になる場合があります。

■受講料

	一般	会員(注1参照)
受講料(テキスト代、消費税等込み)	24,000円/一人	21,600円/一人

受講料(テキスト代、消費税込み。テキストは開催当日お渡しします)

注1: 後援、協賛の各法人/団体の会員と(一社)日本非破壊検査協会のNDIS0604赤外線サーモグラフィ試験(TT)またはJIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ試験(TT)の有資格者は会員価格が適用されます。

注2: 実技に使用するサーモグラフィ装置、ノートパソコンは、協会準備します。

※開催日の2週間前を過ぎると受講をキャンセルできませんのでご注意願います。

■開催日時・開催場所について

当協会ホームページにて開催日時、開催場所を掲載しております。

詳細につきましては当協会ホームページよりご確認下さい。

<http://www.thermography.or.jp/seminar/seminar03.html>

■申込み方法(次の方法の何れかからお申込み下さい)

当協会ホームページの申込みフォーマットから直接送信する。

電話での受付及び予約は一切行っておりません。尚、ご不明点は、電話やホームページ(お問合せ)等でお問合せ下さい。